

税理士の皆様へ



添付書類も含めた  
e-Taxの利用について

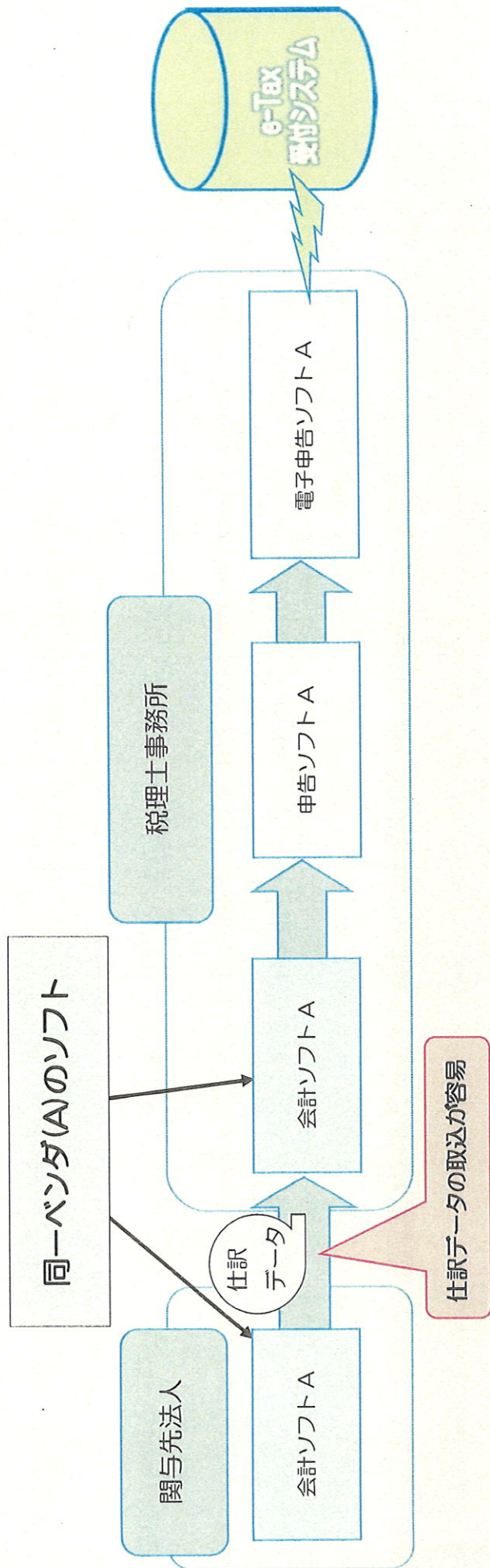
中京税務署

ベンダ名	互換性のある主な会計ソフト
日本ICS	弥生会計、PCA会計、会計王、勘定奉行、大蔵大臣、大番頭、JDLIBEX、freee、Freewayjapan ほか
JDL	弥生会計、PCA会計、会計王、勘定奉行、MFクラウド、freee
セイコー エブソン	弥生会計、CSV形式での仕訳データ出力が可能な会計ソフト
MJS (ミロク情報サービス)	弥生会計、PCA会計、会計王、勘定奉行、JDLIBEX
NTTデータ	弥生会計、PCA会計、会計王、勘定奉行、大蔵大臣、MFクラウド、freee、ミロクかんたん会計、BIZSOFT、Freewayjapan ほか
TKC	エクセルやCSV形式データが出力可能な会計ソフト
ハンド (魔法陣)	弥生会計

※ 各ベンダのHP掲載情報を基に作成。

関与先法人の会計ソフトが、税理士と同一ベンダソフトの場合

関与先法人と税理士事務所が同一ベンダの会計ソフトを使用している場合、一般的には、技術的なハードルは低いと考えられます。



※ ベンダソフト毎の具体的な操作方法については、税理士事務所が使用しているソフトの業者へ問合せ願います。

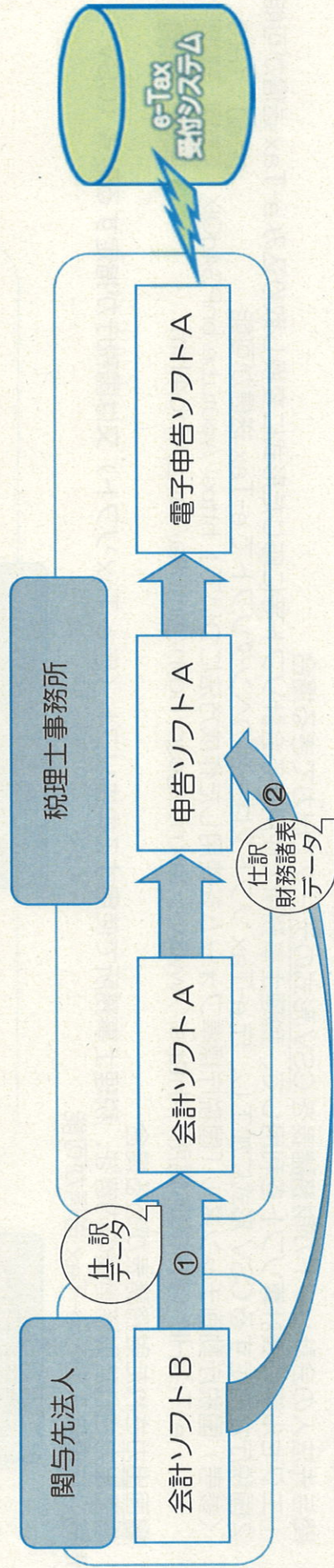
## 関与先の会計ソフトが税理士の利用するベンダソフトと異なるが、互換性がある場合

関与先法人と税理士事務所が異なるベンダソフトを利用しているが、互換性がある場合は、税理士事務所側のソフトに仕訳データ等を取り込むことが可能となります。

互換性がある場合、税理士事務所の会計ソフト又は申告ソフトのいずれかにデータ形式の変換機能を有しているのが一般的です。

取り込むパターンは、以下の2つに分かれます。

- ① 税理士事務所の会計ソフト側に関与先法人が作成した仕訳データを取り込む
- ② 税理士事務所の申告ソフト側に仕訳又は財務諸表データを取り込む



※ ベンダソフト毎の具体的な操作方法については、税理士事務所が使用しているソフトの業者へ問合せ願います。

関与先法人の会計ソフトが税理士の使用するベンダソフトと異なり、互換性がない場合

次のパターンⅠ～Ⅲに応じた方法で、e-Tax 送信が可能となります

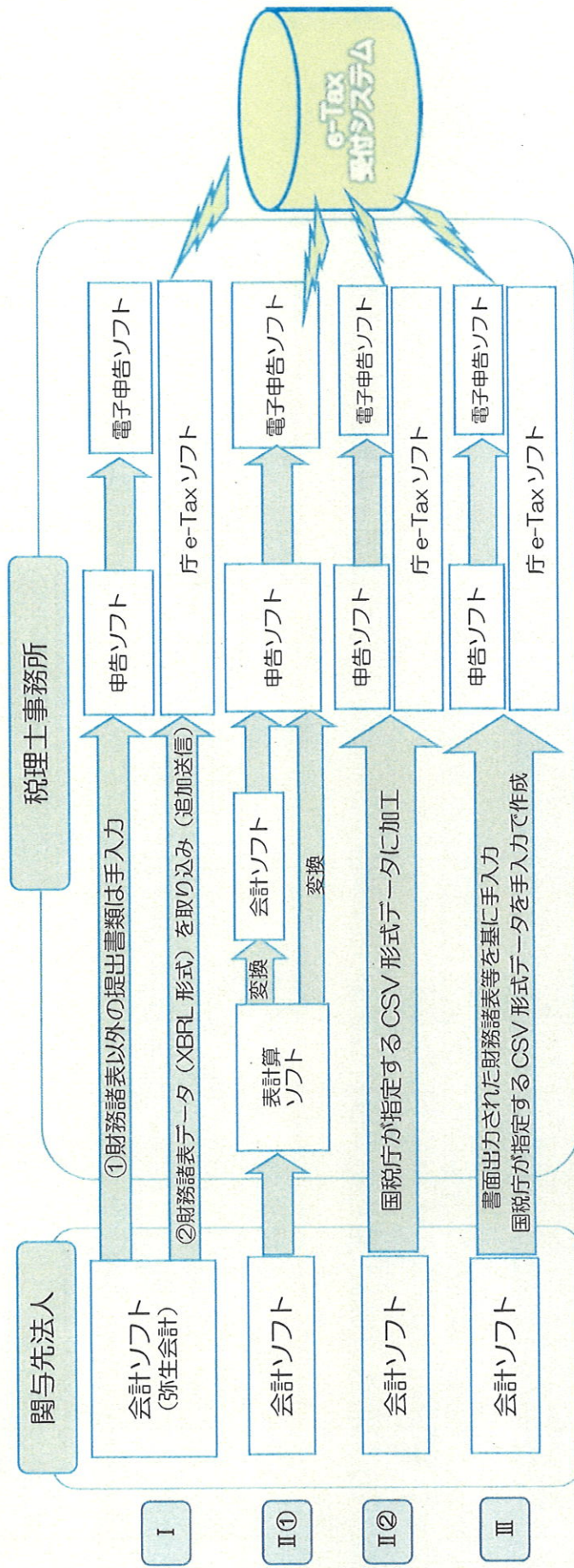
- I 関与先法人の使用する会計ソフトが財務諸表を XBRL 形式のデータで出力できる場合
  - ①財務諸表以外の提出書類（申告書等）を税理士事務所で使用する申告ソフトに手入力しe-Tax 送信した後
  - ②財務諸表データを庁 e-Tax ソフトに取り込んで追加送信

II 関与先法人の会計ソフトが財務諸表を CSV 形式のデータで出力できる場合

- ①エクセル等の表計算ソフトを利用して、税理士事務所で使用する会計ソフト等に応じた形式に変換し取り込み e-Tax 送信が可能
  - ②国税庁が指定する CSV 形式に加工し、庁 e-Tax ソフト又は一部のベンダソフトで e-Tax 送信が可能
- （参考）国税庁動画チャンネル「国税庁標準フォームを使用した作成方法について」 <https://youtu.be/bnPG4aQIX> [https://www.e-tax.nta.go.jp/hojin/gimuka/csv\\_jyoho4.htm](https://www.e-tax.nta.go.jp/hojin/gimuka/csv_jyoho4.htm)

III 書面出力された財務諸表がある場合

書面出力された財務諸表の内容を、税理士事務所で使用する申告ソフト（庁 e-Tax ソフト）又は国税庁が指定する形式（CSV 形式）に直接入力し e-Tax 送信が可能



※ベンダソフト毎の具体的な操作方法については、税理士事務所が使用しているソフトの業者へ問合せ願います。

# 「標準フォーム」を使用した財務諸表のCSV形式データ作成方法について

**貸借対照表(B/S)**  
(令和2年5月31日 現在)

**財務諸表**  
(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金及び預金	1,000,000	流動負債	1,350,000
受取手形	100,000	買掛金	500,000
売掛金	50,000	短期借入金	150,000
棚卸資産	150,000	未払金	200,000
前払費用	50,000	預り金	100,000
短期貸付金	200,000	その他	400,000
未収入金	300,000		
	150,000	<b>固定負債</b>	2,000,000
<b>固定資産</b>		長期借入金	2,000,000
有形固定資産	13,400,000		
建物	12,500,000	<b>負債合計</b>	3,350,000
構築物	3,000,000		
機械及び装置	1,000,000	<b>(純資産の部)</b>	
車両及び運搬具	1,500,000	株主資本	
	2,000,000	資本金	10,000,000

**標準フォーム**

階層番号	内容又は金額等 【必須】 全角又は半角	区分	階層番号	階層コード
1	種別又は勘定科目 【必須】 全角及び半角		2	
2	A		3	
3	B		4	
4	C1		5	
5	C2			

**貸借対照表**

階層番号	勘定科目	金額	階層番号	階層コード
1	資産		1	1000
2	流動資産		2	1001
3	現金及び預金	0	3	100101
4	受取手形及び売掛金	0	4	100102
5	売掛金	0	5	100103
6	短期借入金	0	6	100104
7	未払金	0	7	100105
8	預り金	0	8	100106
9	その他	0	9	100107
10	固定負債	0	10	100108
11	長期借入金	0	11	100109
12	負債合計	0	12	100110
13	純資産	0	13	100111
14	株主資本	0	14	100112
15	資本金	0	15	100113
16	剰余金	0	16	100114
17	剰余金未収入金	0	17	100115
18	不動産等未収入金	0	18	100116
19	加配店買取金	0	19	100117
20	受取手形及び営業未収入金	0	20	100118
21	営業未収入金	0	21	100119
22	電子記録債権	0	22	100120
23	営業貸付金	0	23	100121

入力

次の手順で、財務諸表のCSV形式データを作成していきます!!

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| ① 必須項目の入力    | ⑥ CSV作成順番の並び替え (昇順)   |
| ② 勘定科目の検索    | ⑦ 必須項目の入力             |
| ③ 金額の入力      | ⑧ CSV形式データへの変換準備及び作成  |
| ④ CSV作成順番の入力 | ⑨ CSVファイルチェックコーナーでの確認 |
| ⑤ 追加勘定科目等の入力 | ⑩ e-Taxソフトへの組み込み      |

⑥ CSV作成順番の並び替え (昇順)

昇順(S)  
 降順(O)

④ CSV作成順番の入力(D列)

② 勘定科目の検索 (C列・E列)

⑦ 必須項目の入力 (G~I列)

A列	B列	C列	D列	E列	F列	G列	H列	I列
	【参考】			1	2	3	4	5
階層番号を反映した勘定科目体系	金額	勘定科目区分	CSV作成順番	種別又は勘定科目 【必須】 全角及び半角	内容又は金額等 【任意(一部必須)】 全角又は半角	行区分 【必須】 半角文字	階層番号 【必須】 半角4文字以内	勘定科目コード 【必須】 半角20文字以内
貸借対照表		資産	1	A	BS			追加した場 場合のコード表
資産		流動資産	2	R	法人名等			入力に当た たつての 留意事項
流動資産		流動資産	3		事業年度(自)			
現金及び預金		流動資産	4		事業年度(至)			
受取手形及び売掛金		流動資産	5					
受取手形		流動資産	6		10000			10A100010
貸倒引当金		流動資産	7		20000			10A100020
受取手形(純額)		流動資産	8		30000			10A100030
受取手形		流動資産	9		40000			10A100040
貸倒引当金		流動資産	10		50000			10A100050
受取手形(純額)		流動資産	11		60000			10A100060
		流動資産	12		70000			10A100070
		流動資産						10A100080

① 必須項目の入力 (F列)

③ 金額の入力

⑤ 追加勘定科目等の入力

検索

- (すべて選択)
- 繰延資産
- 固定資産
- 固定負債
- 資産
- 資本金
- 資本剰余金
- 新株予約権
- 追加
- 貸借対照表の資産
- 貸借対照表上の資産
- 特別法上の準備金等
- 評価・換算差額等

OK キャンセル

⑧ CSV形式データへの変換準備及び作成緑色の部分を削除

A列	B列	C列	D列	E列	F列	G列	H列	I列
【参考】								
勘定科目体系	金額	勘定科目区分	CSV作成番号	タイトル行				
貸借対照表		資産	1	BS				
資産の部		流動資産	2	BS				
現金及び預金	10,000	流動資産	6		10000			
受取手形及び売掛金	20,000	流動資産	7		20000			
貸倒引当金	30,000	流動資産	8		30000			
受取手形及び売掛金(純額)	40,000	流動資産	9		40000			
受取手形	50,000	流動資産	10		50000			
貸倒引当金	60,000	流動資産	11		60000			
受取手形(純額)	70,000	流動資産	12		70000			
売掛金	0	流動資産						
貸倒引当金	0	流動資産						
売掛金(純額)	0	流動資産						
関係会社売掛金	0	流動資産						
割賦売掛金	0	流動資産						
関係事業未収入金	0	流動資産						
負債		負債						
借入金		借入金						
未使用項目								

緑色部分を削除

A	B	C	D	E	F	G	H	I
	BS							
国税商事株式会社								
2021-04-01								
2022-03-31								
貸借対照表								
資産の部								
流動資産								
現金及び預金	10000							
受取手形及び売掛金	20000							
貸倒引当金	30000							
受取手形及び売掛金(純額)	40000							
受取手形	50000							
貸倒引当金	60000							
受取手形(純額)	70000							

CSV形式データで保存

ファイル名(N): H0T010\_30\_BS\_10.csv

ファイルの種類(T): CSV (カンマ区切り) (\*.csv)

Microsoft Excel

CSV (カンマ区切り) として保存する場合、ブックの一部の機能が失われる可能性があります。

この形式でブックを保存しますか?

はい(Y) いいえ(N) ヘルプ(H)



## ⑨ CSVファイルチェックコーナーでの確認

CSVファイルチェックコーナー

読み込み方法の確認

読み込み方法の選択

入力内容

項目名	入力内容
様式印刷	財務諸表
対象事業年度	勘定科目内訳明細書
様式	法人税申告書別表

ファイルの選択

CSVファイルの選択し、読み込み

- ・ 読み込み後、表示されるエラー内容に応じて標準フォームで作成した基データ等を修正
- ・ エラーがない場合は、CSVファイルをダウンロードして保存し、e-Taxに組み込み送信（右図の手順⑩へ）

## ⑩ e-Taxソフトへの組み込み

申告・申請等

帳票一覧

財務諸表の組み込み

財務諸表等の組み込み: SC00E094

組み込みは財務諸表等を複数選択して作成し、法人税申告書別表(明細記載する部分)のCSVファイルを組み込みる場合は、帳票一覧で1帳票を複数選択し、印刷メニューの入力が必要となります。詳細な入力方法はヘルプを参照ください。

- 財務諸表(XBRL2.0)(A)
- 財務諸表(CSVファイル)(HOT10(Ver.2.0))(B)
- 財務諸表(CSVファイル)(HOT10(Ver.3.0))(C)
- 勘定科目内訳明細書(CSVファイル)(D)
- 法人税申告書別表(明細記載する部分)(CSVファイル)(E)

OK キャンセル ヘルプ(H)

## e-Taxホームページの掲載場所・・・「標準フォーム」や「CSVファイルチェックコーナー」

ホーム > 利用可能手続一覧 > 財務諸表のCSV形式データの作成方法

トップページより「利用可能手続」を選択し、法人税確定申告等の「CSVファイルの作成方法はこちら」のリンクより「財務諸表のCSV形式データの作成方法」(右図)に進めます。


### 財務諸表のCSV形式データの作成方法

- (1) 概要
- (2) 各標準フォーム等
- (3) CSV形式データの作成に当たっての留意事項
- (4) 財務諸表CSV形式データの具体的な作成方法
- (5) 勘定科目コード検索ツール
- (6) CSVファイルチェックコーナー
- (7) 財務諸表のCSV形式データの提出方法
- (8) よくある疑問

[https://www.e-tax.nta.go.jp/hojin/gimuka/csv\\_jyoho4.htm](https://www.e-tax.nta.go.jp/hojin/gimuka/csv_jyoho4.htm)

ベンダ名	操作方法についての問合せ先（各ベンダソフトの使用者）
日本ICS	【電話番号】 サポートセンター 050-3142-1215 ※ 日本ICSで購入した方に限ります（代理店購入の場合は不可）。
JDL	【電話番号】 JDLIBEXプラザ 03-5606-7121
セイコー エプソン	【電話番号】 サポートセンター 050-3155-8170 ・ 「2番」を押してください。 ・ お問合せの際に「お客様番号（ソフトから把握可能）」が必要となります。 ※ 保守契約を締結されている方のみがお問合せいただけます。 ※ 特約店契約者については、各特約店にお問合せください。
MJS (ミロク情報サービス)	【電話番号】 ソフト購入時の同封書類に電話番号の記載があります。 そちらの番号にお問合せください。
NTTデータ	【電話番号】 達人ヘルプデスク 0120-004-725
TKC	【電話番号】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都SCGサービスセンター（京都府、滋賀県） 075-212-1203</li> <li>・ 大阪SCGサービスセンター（大阪府北部） 06-6385-1271</li> <li>・ 大阪南SCGサービスセンター（大阪府南部、奈良県） 06-6212-8611</li> <li>・ 和歌山SCGサービスセンター（和歌山県） 073-436-8586</li> <li>・ 神戸SCGサービスセンター（兵庫県東部） 078-241-2851</li> <li>・ 姫路SCGサービスセンター（兵庫県西部、北部） 079-281-8581</li> </ul>
ハンド (魔法陣)	【電話番号】 サポートセンター 06-6454-6130

※ 各ベンダのHP掲載情報等を基に作成。

	問合せ先
国税庁 ヘルプデスク	<p>【電話番号】 ヘルプデスク 0570-01-5901</p> <p>【電子メールによるお問い合わせ】 庁指定のCSV形式データの作成のご質問はメールでお問合せ願います。 (問合せフォーム) <a href="https://www.e-tax.nta.go.jp/suggestion/toiawase/input_form.html">https://www.e-tax.nta.go.jp/suggestion/toiawase/input_form.html</a> ※ メールでの問い合わせは回答まで日数を要する場合があります。</p> <p style="text-align: right;">【問合せフォーム】 </p>

令和 4 年 9 月 15 日  
中京税務署 法人課税部門

## 法人税申告において提出される書類について

○ 法人税確定申告で提出される書類

PDF形式では提出できない。

	提出書類	データ形式	備考
1	申告書別表	XML形式 又は CSV形式	別表が e-Tax に対応しているか 国税庁HPで確認が可能
2	財務諸表 (貸借対照表、損益計算書等)	XBRL形式 又は CSV形式	
3	勘定科目内訳明細書	XML形式 又は CSV形式	
4	法人税事業概況書	XML形式	
5	第三者作成書類等の添付書類	PDF形式	

### (留意事項)

第三者作成等の添付書類は、特別控除に必要な経済産業省の証明書、収用証明書等で通常書面で受領する（納税者がデータで取得、作成しない）ことが一般的であるため、イメージデータでの提出が認められています。

### (誤った例)

- ・ 財務諸表を、PDF形式で送信している。
- ・ e-Tax に対応している別表を、PDF形式で提出している。
- ・ 別表一（一）だけを電子申告としている。